

令和8年度の目標

子どもが自分で周りの動きに気付き集団行動ができるようになる

目標	取組み
①自分の気持ちが言えるようになる (言語理解・言語表出・コミュニケーション)	<ul style="list-style-type: none"> ・実物や絵カードを使用したり、ジェスチャーや動きに合わせて言葉を伝えていきます。 ・本人の動作に合わせて代弁し、理解できる言葉を増やしていきます。 ・自由遊びや活動時など個々に合わせて名詞・動詞・形容詞・助詞を使つての言葉かけをしていきます。
②自分のやるべきことがわかるようになる (認知・行動)	<ul style="list-style-type: none"> ・話している人に注目できるよう声掛けをしていきます。 ・一斉指示に気が付き、「今すること」がわかり、できるようにしていきます。 ・五感を通して、形の大きさ・色の違い・空間・時間の概念などの認知力を高めます。
③基本的生活のスキルを身につける (健康・生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・のんたんの一日の流れや行動をスケジュールボードや絵カード、タイムタイマー等、視覚や聴覚で伝え、次への見通しが立つようにします。 ・準備、手洗い・食事・着脱、排泄など、個々に合わせて伝え、スモールステップでできることを増やしていきます。
④上肢・下肢の運動に取り組める (姿勢保持ができるようになる)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く・走る・遊具を使った運動などで体幹やバランス力を養っていきます。 ・指先を使った遊びが楽しめるようにしていきます。 ・3本の指先に力が入り、スプーンやフォーク、お箸、鉛筆やハサミなどが使えるようにしていきます。
⑤模倣行動ができる (相手を見たり・相手に伝えようとする)	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの中で支援者が子ども達とふれあい遊びをします。 ・1対1の関りの中で、他者意識を高めていきます。 ・「待つ・譲る・我慢する」など他者との関りの中で自己コントロールができるようにしていきます。

5領域の支援

領域	目標	療育内容
健康・生活	③基本的生活のスキルを身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で準備、手洗い、食事、着脱、排泄など基本的な生活リズムが身につくように支援します。 ・身辺自立など、自分のことが自主的に取り組めるように促していきます。
運動・感覚	④上肢・下肢の運動に取り組める(姿勢保持ができるようになる)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを通して、体幹を鍛えたり、姿勢保持ができるように支援します。 ・身体機能を高めたり、感覚統合を促します。
認知・行動	②自分のやるべきことがわかるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚遊びを通して、必要な感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知の発達を促します。 ・集団生活の中で流れに沿って行動ができたり、ルールのある遊びが楽しめるように支援します。
言語 コミュニケーション	①自分の気持ちが言えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、言語に限らず、多様なコミュニケーション手段を活用し、一人一人にあった支援をします。 ・本人の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたり、言葉でのやりとりができるように支援します。
人間関係 社会性	⑤模倣行動ができる。 (相手を見たり・相手に伝えようとする)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で、子どもにとって安心できる支援者との信頼関係作りや、他者との関わりの中で自己コントロールができるよう支援していきます。 ・自由遊びの中で、二項関係から三項関係に繋げ、他者との関りを繋げていきます。

		月	火	水	木	金	土
午前		言語療法	言語療法	言語療法	言語療法	言語療法	
			運動あそび	運動あそび	感覚あそび	感覚あそび	
午後	①	運動あそび (微細)	運動あそび	運動あそび	感覚あそび	感覚あそび	創作(言語療法)
	②						休み
	③						創作(言語療法)
	④						休み
	⑤						休み

午前

<身体の体幹やバランス力を養う>
 <指先から足まで体全体を使った遊びを楽しむ>
 ☞ 大型遊具や遊具を使った運動(トランポリン・平均台・トンネルなど)・風船遊び・マット遊び・ボール遊び・お散歩など
 <腕や手の筋肉を使用する運動に取り組むことにより、関節を動かし細かい動きができるようになります。指先を使った遊びが楽しめるようになります。>
 ☞ まるめる・やぶる・プットイン・シール貼り・なぐり書きなど

<色々なものに触れ、触覚や視覚、聴覚などを通して、理解できる言葉が増えたり、形(大・小・長い・短いなど)や色を知る・体の部位の名前を知る>
 ☞ ボールプール・砂遊び・氷遊び等

運動遊び

感覚遊び

午後

<身体の体幹やバランス力を養う>
 <集団のルールや他者との関り方、相手を思いやる気持ちを育てます>
 ☞ トランポリン・平均台・はしご・滑り台・トンネル
 ・ジャンプ遊び・縄遊び・しっぽとりゲーム

<色々なものを見て感じて五感を養い、触覚に触れることで身体の輪郭を知る・体の部位の名前がわかる形(大・小・長い・短いなど)や色がわかる>
 ☞ ボールプール・砂遊び・氷遊び・新聞遊び・日用品遊び(紙やすり・スポンジ等)・積木・お散歩・しゃぼん玉など。

<手指がうまく使え細かい動きができるようになる>
 ☞ シール貼り・折り紙・鉛筆・洗濯ばさみ・ハサミ(1本切り・連続切り・曲線切り等)

運動遊び

感覚あそび

運動(微細)

土曜日プログラム

創作あそび 折り紙・塗る・貼る・切る・季節を取り入れた造形など。

言語療法

遊びを通して個別で他者とのやりとりする力や、言葉の理解を増やし個々に合わせ自発的な発信を促す。

○ 利用時間

午前		午後	
火～金	10:00～13:00 (お迎え9:30～ 送り13:00～)	月～金	14:00～18:00 (お迎え13:30～ 送り17:45～)
土	/	土	11:00～16:00 (お迎え10:30～ 送り15:45～)
長期休暇	10:00～13:00 (お迎え9:30～ 送り13:00～)	長期休暇	13:00～16:00 (お迎え12:30～ 送り15:45～)

※土曜日、保護者様が連れてこられる場合は11:00以降でお願いいたします。

令和8年度の放課後等デイサービス全体 (小学1年生～高校生) の目標

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① 自分のことは自分で出来るようになる | ② 自己肯定感を持ち、高めることができる |
| ③ 場面に合った適切な行動ができる | ④ 社会のルールを知って守ることができる |

小学1～3年生の目標	取組み
① 自分でのんたんのスケジュールを見て確認し、行動できるようになる	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚 (写真・イラスト・実物・時計など) を使って伝えていきます ・個別に対応をし確認していきます ・細分化した手順書を使い、「一人でできた」につなげていきます ・時計を見て次にする行動を自分で気付けるように声をかけていきます
② できる事が増える	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味をもつ内容のプログラムを取り入れていきます ・想像力・感性を生み出せるような素材・題材に工夫し、個々が選択できるようにしていきます
③④ のんたんでのルールや集団活動のルールを知り、守ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・座って話を聞くことができるようにしていきます ・わかりやすく簡潔に伝えていきます ・行動する前に、約束・ルール・危険な行動を伝えていきます ・困った行動をしてしまった時には、個別に対応をし正しい行動を伝えていきます ・否定せず一旦受入れ、正しい行動を本人と一緒に考えていきます



5領域の支援

領域	プログラム	療育内容
健康・生活	日常クッキング お出かけ	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、支援者から挨拶をし、挨拶 (発達特性の応じた方法) が返せるようにしていき、同時に健康状態の確認をし小さなサインや心身の変化に気付けるようにしていきます ・来所時・食事前の手洗いの習慣をつけていきます ・身の回りの整理整頓が出来るように声をかけ、方法を一緒に考えて実践していきます ・おやつ作りや昼食作りを通して、基本的な生活スキルを身につけていきます ・お出かけから帰ってきたら、手洗い・うがいの習慣をつけていきます
運動・感覚	自由遊び 運動 創作	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊び・縄跳び・巧技台などを通して、体の使い方・体幹・バランス・姿勢の保持の向上へつなげていきます ・作品作りを通してハサミ・のり・ハケ・筆などの道具の扱い方や基本的動作 (切る・ちぎる・握る・折る・通すなど) を習得していきます ・個々の特性 (感覚の過敏・鈍麻など) に配慮し、自己肯定感・自己効力感を高めていきます
認知・行動	自由遊び 全プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールボードに写真・イラスト・時計などを用いて、一日の流れや活動の内容を提示し、個々に確認しながら、自分で行動できるようにしていきます ・音楽を取り入れながら切り替えできるようにしていきます ・遊びの中で、ブロックなどの立体物作りを通して空間認知の習得へつなげていきます ・創作やお出かけを通して、季節の移り変わり・実感できるようにしていきます
言語 コミュニケーション	自由遊び 集団あそび 創作	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合ったコミュニケーションツール (絵カード・サイン・言語など) を使い、意思の伝達ができるように支援していきます ・集団あそびを通して、他者を知り、自己表現力・コミュニケーション能力の向上へつなげていきます ・お友達と一緒に作る楽しさを経験し、共同作業を通してお友達との関わりができるようにしていきます
人間関係 社会性	自由遊び 集団あそび お出かけ	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わり方を模倣・ロープレを通して支援していきます ・集団活動のルールや社会のルール・マナーを模倣・経験し、身につけていきます ・危険な行動は、事前に伝え、どうして危険なのかを考えていきます

○ 放課後等デイサービス①③ (小学1年生～3年生) 週間プログラム

		月	火	水	木	金	土
学習支援		ポケット	ポケット	ポケット	ポケット	言語療法	
放課後等デイサービス① 小学1年生 ～ 小学3年生	①	運 動	集団あそび	運 動	集団あそび	創 作	お出かけ
	②						休 み
	③						クッキング
	④						休 み
	⑤						休 み

【集団あそび】

- ・お友達と遊ぶ楽しさを体験する
- ・コミュニケーション力を養う
- ・ルールを守って遊ぶ
- ★ ボール爆弾ゲーム・パラバルーン・新聞あそび
風船あそび・おにごっこ・シーツ運びリレー など・

【運 動】

- ・足・手などの身体の部位の動かし方を養う
- ・体幹・筋力を鍛える
- ・バランス感覚・姿勢保持力・集中力・注意力を養う
- ★ 歩く・走る・ステップ・ラダー・ケンケン
大縄・巧技台・ボールあそび・ダンス など・

【創 作】

- ・創造力や豊かな感性・集中力が身につく
- ・作品を通して季節の移り変わりがわかる
- ・みんなと共々作ることで
コミュニケーション能力を養う
- ・道具（はさみ・のり・筆・絵の具など）の扱い方を知る
- ・使ったものを片付けれるようになる
- ★ こいのぼり・七夕飾り・ハロウィン など・
階段の壁面に貼ります

【お出かけ】

- ・交通ルールやマナー（お店・電車など）を守り、
集団行動ができるようになる
- ・自分の荷物の管理ができるようになる
- ★ 近隣の公園・スーパー・公園 など・

【クッキング】

- ・作ることに興味をもち、楽しく活動に参加をする
- ・調理器具の正しい使い方を知る
- ・基本的な作業（切る・混ぜるなど）が
できるようになる
- ★ オープンサンド・フルーチェ・玉子えびせん・
ホットケーキ・焼きそば・コロッケパン など・

【日常・生活習慣】

- ・集団活動の中で相手の話を聞くことができ、
ルールを守ることができるようになる
- ・自分らしく、個々を大切に、自分を表現できる
居場所になる
- ・その場にあった挨拶ができるようになる
- ・手洗いができるようになる
- ・外から帰ってきたら、うがいができるようになる

○ 利用時間

月～金	14:00 ～ 18:00	(お迎え 下校時間～ 送り 17:45～)
土	11:00 ～ 16:00	(お迎え 10:30～ 送り 15:45～)
長期休暇	11:00 ～ 16:00	(お迎え 10:30～ 送り 15:45～)

※土曜日、保護者様が連れてこられる場合は11:00以降でお願いいたします。



令和8年度の放課後等デイサービス全体(小学1年生～高校生)の目標

- ① 自分のことは自分で出来るようになる
- ② 自己肯定感を持ち、高めることができる
- ③ 場面に合った適切な行動ができる
- ④ 社会のルールを知って守ることができる

小学4～6年生の目標	取組み
自分で選択して行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールと目標を個別化する。 ・自分で選べる環境を作り選択を促す。 ・選択をしても良い実感を得る為に選択する機会を増やす。 ・活動や学習支援に参加しない時は、子供と一緒に担当に伝える。(理由や相手も気持ちを汲み取った伝え方を行う) ・スモールステップで目標を設定する。(ステップアップできるきっかけを作る。)
自分を知って認めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする機会を作りできたことを実感して自信に繋げる。 ・自分の得手不得手を認め自分に合った方法を一緒に探す・考える ・トークンを使用する際は達成条件(目標)を作る。 ・目標を子どもが設定できるように選択肢を提示する。(成長に応じて自分で考えて設定する機会も作る。) ・子供ができたを実感できる場面を作る(お手伝い・役割・目標等)
のんたんでのルール学び、守る。	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚化する。(全体用・個別用を分けて用意する) ・ルールを守る意味を知る。(自分にとってのメリット・デメリットも知る) ・自分たちでルールを作る環境を設定する。 ・してはいけないことを伝えるのではなく、してほしいことを伝える。 ・自分で考える・気付く機会を作り自ら行動する習慣付けを促す。
自分と相手の思いや気持ちを知り適切な言動が増える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ト書き発言や場面、相手の気持ちを視覚化する。 ・不適切行動が予測される場面をあらかじめロールプレイなどで子供に伝える。(適切な言動・解決策を一緒に考える) ・適切な行動をとれた時(部分的でも)には認めて褒める。 ・自分の気持ちや状況を整理する環境・方法を複数提示して取り組んでみて自分に合った方法を見つける。 ・支援者が本児の様子を伝えて自分の姿を客観視する意識を持てるように促す。

5領域の支援

領域	プログラム	療育内容
健康・生活	日常クッキング	<p>身辺自立に向けた活動を行い一人でできる力を身に付ける環境を作り支援を行う。(手洗い・排泄・整理整頓)</p> <p>安心して楽しく過ごすことができるように自らヘルプを出す練習をする</p> <p>調理器具の正しい使い方を知り、基本的な作業(切る・混ぜるなど)出来るようになり、知識を身に付ける。(得意な事から取り組んでみる気持ちを養う)</p> <p>食べ物について知る・見る・触れる機会を作り食に対する興味の幅を広げる。</p> <p>1人で買い物ができるようにお金の使い方、買い物の仕方を学び1人で取り組む機会を作る。</p>
運動・感覚	運動創作 集団活動	<p>運動活動に触れて興味を持つことのできる内容を取り入れる。</p> <p>自発的に運動活動に取り組み、運動活動の楽しさを感じながら表現力(自分らしさ)、集中力(椅子に座る、話を聞く)、手先の器用さ(切る、折る)、選択する能力が身につく。</p> <p>例年と違う内容に取り組むことで、興味、知識の幅を広げる。</p> <p>筋力の維持・強化・体幹を鍛え、体の使い方を学べる環境を作る。</p> <p>子どもの気持ちに寄り添い取り組み易い内容役割を作り、挑戦する機会を作る。</p> <p>スモールステップでできたを実感する頻度を増やして自信に繋げる。</p>
認知・行動	日常 テーブルゲーム 集団活動	<p>個別のスケジュールを用意して時間の意識を高める。</p> <p>コミュニケーションメモを用いて視覚的に情報の整理をする。</p> <p>表現方法の選択肢を増やし自分に合った方法を見つける・身に付ける習慣をつける。</p> <p>成功体験をするために自分で目標を立てる。また、成功体験をすることで、自己肯定感を高め自信を持つ。挑戦する癖をつける。</p> <p>SSTに関するテキストを用いて楽しみながら感情や言動について学ぶ。</p> <p>・自分の得意・不得意を知り、伸ばす・克服のメリットを理解することで成長意欲を高める。</p> <p>様々な場所でヘルプが出せるようになる。</p>

<p>言語・コミュニケーション</p>	<p>日常 運動 テーブルゲーム 集団活動</p>	<p>日常的に言葉によるコミュニケーション手段だけでなく、文字や記号、ジェスチャー等様々な方法を知り、使うことが出来るように支援を行う。 発言について深掘をして言葉の理解力を身につける。 相談する機会を作ることで気持ちを伝える、聞くことに対する自信を意識を持つ。 支援者から個々の様子を伝える事で自己認知ができるようになる。 こたわりがあっても自分の中で整理をして切り替えができるようになるために方法を提示する。</p>
<p>人間関係・社会性</p>	<p>日常 運動 テーブルゲーム 集団活動 おでかけ</p>	<p>活動・自由遊びに参加しやすい環境(内容・グループ分け)を提示し、集団行動の経験が増える様に支援を行う。 支援者が関わり方のデモンストレーションを行うことで他者と安定した関わり方の取得が出来るように支援を行う。 自分の気持ちや状況の整理をする練習をして適切なコミュニケーション方法を自分で考えて実践できる環境を作る。</p>

		月	火	水	木	金	土
学習支援		ポケット	ポケット	ポケット	ポケット		
放課後等デイサービス① 小学4年生 ～ 小学6年生	①	創作	集団活動	運動活動	テーブルゲーム	運動活動	おでかけ or クッキング
	②						休み
	③						おでかけ or クッキング
	④						休み
	⑤						休み

<p>【運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を通し運動活動に触れて、運動活動に興味を持つ。(活動のはじめ時点でのハードルを下げて最初の取り掛かりがしやすいように環境を作る。) ※役割・個々に合った内容の選択や自分の得意不得意(強み)を知り自己認知を高める。 ・集団での運動活動を取り入れることで社会性やコミュニケーション能力を身につける。(場面理解、切り替え、集中力) ・成功体験をするために自分で目標を立てる。また、成功体験をすることで、自己肯定感を高め自信を持つ。挑戦する癖をつける。 ・筋力・体幹を鍛えつつ、体の使い方も学んでいく。 <p>【テーブルゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルゲームを通して小集団での活動の楽しさを知る。 ・社会で必要なスキル・知識を身に付ける。(社会性) ・興味の幅を広げる。 ・感情のコントロールができるようになる。 ・こだわりがあっても自分の中で整理をして切り替えができるようになる。 ・自己認知を高める。 <p>【集団活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お友達と一緒に活動をすることで社会性やコミュニケーション能力を身につける。 ・言葉の理解力を身につける。 ・相談や話し合いの機会を作り、注意点、ルールを知る。(気持ちを伝える、相手の気持ちを汲み取る練習) ・自発的な行動を意識、経験できる環境を作る。 ・相手の気持ちを考える習慣をつける。 ・自分の言動を客観視できるようになる。 	<p>【創作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現力(自分らしさ)、集中力(椅子に座る、話を聞く)、手先の器用さ(切る、折る)、選択する能力を身につける。 ・表現方法の選択肢を増やし自分に合った方法を見つける・身に付ける習慣をつける。 ・作品を通して、季節の移り変わりを感じて製作をより楽しむ。 ・自分の得手不得手(好き嫌い)を知り受け入れる。 ・例年と違う内容に取り組むことで、興味、知識の幅を広げる。 <p>【お出かけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出時のルールやマナーを知り、社会性を身につける。 ・外出の経験を積むことで知らない場所に行く時の不安を払拭できる。 ・1人で買い物ができるようにお金の使い方、買い物の仕方を知る ・おつかいの経験をして、メモの使い方、見方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場所でヘルプが出せるようになる。 ・公共交通機関の使い方を知る。 <p>【クッキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組むことで作る事の楽しさを知る。 ・調理器具の正しい使い方を知り、基本的な作業(切る・混ぜるなど)ができるようになる。 ・できる事を実感して自信を持って取り組む事ができる様になる。 ・役割を相談することで相談する力を身に付ける。(気持ちを伝える、相手の気持ちを汲み取る練習)
--	--

○ 利用時間

月～金	14:00 ～ 18:00 (お迎え 下校時間～ 送り 17:45～)
土	11:00 ～ 16:00 (お迎え 10:30～ 送り 15:45～)
長期休暇	11:00 ～ 16:00 (お迎え 10:30～ 送り 15:45～)

※土曜日、保護者様が連れてこられる場合は11:00以降でお願いいたします。

令和8年度 年間・週間予定プログラム

○ 放課後等デイサービス 分室(中学生～高校生)

令和7年度の放課後等デイサービス全体(小学1年生～高校生)の目標

- ① 自分のことは自分で出来るようになる
- ② 場面に合った適切な行動ができる
- ③ 社会のルール知って守ることができる
- ④ 自己肯定感を持ち、高めることができる

中高生の目標	取組み
自己選択・自己決定・自己責任	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を提案し、自分で決定する機会をつくります。 ・選択・決定したことに対して振り返り、考え直すきっかけを作っていきます。
自分で感情のコントロールと適切な行動ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で適切な行動が行えるよう促していきます。 ・自分自身の解決方法を支援者と探していき、これでいいかと思える範囲を増やしていきます。
一般的な社会のルールを分かって守れる	<ul style="list-style-type: none"> ・座学やロールプレイングをし、実際の経験を重ねていきます。 ・細かなルールを個別に教え、ルールが分かった上で実践していきます。 ・正しい行動をした場合は認め、日常生活でも行えるようにしていきます。
様々な経験や交流を積み、自己有能感を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し同じ内容の活動や作業を行い、できることを増やしていきます。 ・子どもたちの話を聞き、本人の気持ちを認めた上で考え方を広げるよう支援します。

5領域の支援

領域	プログラム	療育内容
健康・生活	LST クッキング 日常	来所から帰るまでの流れの中で、子ども達の特性や年齢を考慮しながら身辺自立に向けた生活スキル(衣食住・挨拶・エチケット・マナー等)を獲得できるように支援していきます。 クッキングを通して、食生活の自立に近づけるよう、食器の洗い方、片付けかた等、一連の流れを獲得できるように支援していきます。
運動・感覚	レクリエーション クラフト・創作 ヨガ	身体を動かすレクリエーションやヨガ、手先を使う創作を通して体の使い方や感覚を養えるよう支援し、難しいと感じる事は、代替案を支援者と考えながら成功体験を重ねることができるよう支援していきます。
認知・行動	お出かけ レクリエーション LST 日常	お出かけ等を通して社会のマナーやルールを守る、買い物時のコミュニケーションパターンを知る、お金の使い方や管理等を知る等、個々にあった支援方法を使い、適切な行動が行えるよう実際の経験を重ねていきます。
言語・コミュニケーション	SST/LST レクリエーション 日常	来所から帰るまでの流れの中で、言葉によるコミュニケーション手段だけでなく、視覚支援ツールを活用しながら、子ども達が意思表示を出しやすい方法で支援を行っていきます。
人間関係・社会性	SST/LST レクリエーション 日常	活動や来所から帰るまでの流れを通して、他者と安定した人間関係の取り方や対人マナーを知ることができるよう支援します。

○ 放課後等デイサービス 分室 (中学生～高校生) 週間プログラム

	月	火	水	木	金	土
学習支援	ポケット			ポケット		
学習支援ポケットは、中学生までの支援となります。						
③ 中学生 ～ 高校生	LST/SST 創作・クラフト レクリエーション	おでかけ 創作・クラフト レクリエーション	おでかけ クッキング レクリエーション	LST/SST 創作・クラフト レクリエーション	創作・クラフト 茶話会 レクリエーション	①ヨガ
						②休み
						③クッキング 又は おでかけ
						④休み
第5週は茶話会・創作・クラフト(販売用)・レクリエーションを中心に行います。						

<p>【SST】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を送るために必要なスキルと使い方を学ぶ ・人との関係を作り円滑な社会生活を送れるようになる <p>【LST(活動・日常)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近自立に向けた活動を行い、一人で出来る力を身に付ける ・来た時から帰るまでの中で身近自立に必要なスキルを身に付ける ・時間管理(スケジュールを組む・余暇の過ごし方)ができるようになる <p>【お出かけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の使い方(考えて買う)や管理(レシート管理)ができるようになる ・買い物時のコミュニケーションパターンを知って経験を積んでいく ・外出時のマナーや社会のルールを知って、外出の経験を積んでいく 	<p>【クッキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の自立に近づけるようになる(簡単なメニューを作り一人で作ってみようと思えるようになる) ・片付け(洗う・流す・ふく)までの細かな生活スキルを身につける <p>【エンジョイプログラム(創作・クラフト)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形にとらわれず表現することや作る楽しさを体験する ・余暇の幅を広げ、作品づくりの楽しさを体験する ・誰かの為に作るモノづくりの楽しさを知る・販売する経験をする <p>【エンジョイプログラム(レクリエーション)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや、人間関係、成功体験を増やしていく ・小集団の中でレクリエーションを通してコミュニケーション能力を育む ・ヨガを通してリラックスすること休む事、自分を知ることを体験する
---	--

○ 利用時間

月～金	14:00 ~ 18:00 (お迎え 下校時間～ 送り 17:45～)
土	11:00 ~ 16:00 (お迎え 10:30～ 送り 15:45～)
長期休暇	11:00 ~ 16:00 (お迎え 10:30～ 送り 15:45～)

※土曜日、保護者様が連れてこられる場合は11:00以降でお願いいたします。